

沖縄県広報誌
「美ら島沖縄」について

沖縄県広報誌「美ら島沖縄」は、県の施策や情報をわかりやすく県民のみなさまにお伝えする冊子です。公共機関や学校、銀行、病院など多くの方が利用できる施設でご覧になることができるほか、沖縄ファミリーマートの店舗、イオンの店舗、モノレール各駅で無料配布しています。

本号とバックナンバーは
県広報課ホームページでご覧になれます。

美ら島沖縄

検索

<http://www.pref.okinawa.lg.jp/churahome/>

沖縄県知事公室広報課

☎098-866-2020

アンケート

「美ら島沖縄」の感想をお聞かせください。

▶パソコンはこちら

美ら島沖縄

検索

▶携帯電話は、右のQRコードから



沖縄の人口・世帯の動き
※平成25年6月1日現在

人口141万3,723人

※前月比830人増

世帯54万5,979世帯

※前月比842世帯増



良 好な景観を保全し、快適で安全な歩道区間の維持や観光立県沖縄のイメージ向上のため、県土木事務所、沖縄電力及びNTTは、県管理道路等の23地区で違法に掲示されている広告物の一斉撤去を行った。

宮古・八重山地区の離島を含む県内各地で90人が作業に取り組み、電柱や街路樹などに設置されたポスター、立看板、のぼりなど、選挙関連の799点を含む1,314点の違反広告物を撤去した。

この日は自主撤去を促す警告シールを貼ってから5日以上過ぎた広告物を処理し、また、今回新たに見つかった違法広告物に188枚の警告シールを貼った。県土木事務所の担当者は「撤去件数は年々、減ってきているが、許可が必要な広告物に関する周知が不十分なので、今後も定期的に実施していきたい」と話した。



違法に掲示されている広告物撤去の様子

7/3
一斉除却作業
道路違法占用物・違反広告物

環 境と共生した豊かな美ら島づくりをめざしてをテーマに、環境省・沖縄県が主催し、14か国が参加した国際会議が沖縄科学技術大学院大学で開催された。

29日の公開シンポジウムでは、気候変動に関する政府間パネル議長パチャウリ氏の基調講演などが行われた。また、県主催のレセプションが行われ、参加各国との交流を深めた。

30日の専門家会合では、島しょ地域における温暖化対策やサンゴ礁保全などをテーマに4つの分科会が開催され、活発な議論が行われた。

最後に、議長が「この国際会議を契機に、沖縄を拠点として、島しょ国の環境保全の取組が一層進展することへの期待と、国際会議を継続的に開催する必要性がある」と取りまとめた。



29日の公開シンポジウム発表者

6/29-30
地球温暖化防止とサンゴ礁保全に関する国際会議開催

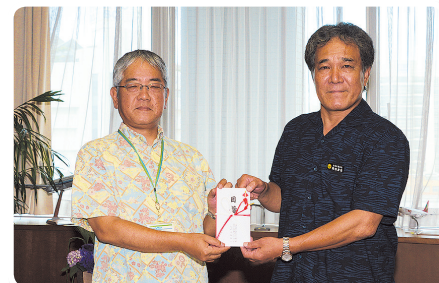
県と包括連携協定を締結している株式会社沖縄ファミリーマートは、沖縄平和賞委員会へ寄付金の贈呈を行った。

沖縄平和賞を県民参加型の顕彰制度として継続するという趣旨で、平成15年度から募金を開始している。

株式会社沖縄ファミリーマートは、今年3月下旬から4月上旬までの間、県内220店舗に募金箱を設置し、総額49万8,654円の寄付金が寄せられた。

高良副知事は「協定締結以来、継続して募金活動を実施していただき、感謝申し上げます。寄付金は沖縄平和賞の副賞・賞金として受賞者へ贈られており、これまでも平和活動の資金として役立てられている。今後とも引き続きご協力をお願いしたい」とあいさつした。

沖縄平和賞授賞式は、2年に1度開催されており、第7回授賞式は、平成26年度に予定している。



寄付金を贈呈する大城社長と高良副知事(右)

6/18
沖縄平和賞委員会への寄付金贈呈

県は、久米島町にある沖縄県海洋深層水研究所で、海洋温度差発電実証プラントの通電式を開催し、内閣府の島尻安伊子政務官など多くの関係者が出席した。

海洋温度差発電は、温かい表層海水と冷たい深層海水の温度差を電力に変換する、再生可能エネルギーによる発電のひとつで、世界的にも実施した例は少ない。県は、エネルギー消費のほとんどを化石燃料に依存するため、エネルギーの地産地消を推進しており、その一環として平成24年度から、海洋温度差発電の実証事業を行っている。

通電式に出席した川上副知事は、「久米島町を出発地として、世界に発展するクリーンエネルギーになることを期待したい」とあいさつした。通電式では、通電開始のセレモニーなどを行い、本格的な事業開始を祝った。



通電開始ボタンを押す平良久米島町長、島尻政務官、川上副知事(右から)

6/16
海洋温度差発電実証プラントの通電式が行われる

県政フラッシュ

2013年
6月・7月



●表紙について

沖縄の文様
マンホール蓋

道路面上にあるマンホール蓋には、各市町村の伝統行事や自然・風物など、地域の特徴を表したデザインが施されています。全国に先駆けて、その第1号となったのが、1977年にガーラをデザインした那覇市のマンホール蓋です。その後デザインマンホール蓋は全国に広まり、デザインの審査会が開催されたときの優良デザイン20選には、那覇市と浦添市のデザインが選ばれています。

撮影協力：沖縄鉄工業株式会社



10日	9日	8日	6日	3日	1日	29日	28日	25日	24日	23日	21日	20日	19日	18日	17日	16日	15日
空手・古武術保持者認定書交付式	夏の交通安全県民運動出発式 県指定無形文化財(琉球歌劇、沖縄の	農林水産戦略品目拠点産地認定 証交付式(宜野座村のマンゴー)	第13回沖縄県障害者技能競技大会 MV-22オスプレイの普天間飛行場配備に係る要請(外務大臣他)	道路違法占用物・違反広告物 一斉除却作業	みんなでグッジョブ運動推進 月間キックオフイベント 2013年県産品奨励月間街頭キャンペーン	第22回沖縄県ゆであいスポーツ大会 「ダメ。ゼッタイ。」普及運動 6・26ヤング街頭キャンペーン	地球温暖化防止とサンゴ礁保全に関する国際会議	普天間飛行場代替施設建設事業に係る公有水面埋立承認申請書の告示・縦覧(7月18日まで)	術開発研究の立ち上げ 平成25年度ハイオ産業活性化支援事業にかかる補助事業者採択発表 沖縄市サッカー場で発見されたドラム缶に関する周辺環境調査の実施	平成25年沖縄全戦没者追悼式 ヒメジャコ「お花畑」造成技術開発研究の立ち上げ	ライフスタイルイノベーション創出推進事業研究開発プロジェクト採択交付式	認可外保育施設の防音対策事業に関する要請(沖縄防衛局) 国の史跡「天然記念物の指定	経営革新計画承認書交付式 認可外保育施設の防音対策事業に関する要請(沖縄防衛局)	「沖縄国際航空物流ハブ活用提案セミナー」の開催 6月議会開会(7月11日閉会)	沖縄平和賞委員会への寄付金贈呈式 海洋温度差発電実証プラント通電式	平成25年度「平和の礎」追刻銘 第1回地域の伝統芸能サークット(エイサー×空手)	沖縄県産マンゴー県外販促 キャンペーン

7月
JULY

6月
JUNE

県政日誌

